

政策 01 みんなで支えあう健康のまちづくり

施策 02 地域医療・福祉医療の推進

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿
病气やケガの際に安心して医療が受けられるまちになっています。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	地域の医療機関を安心して利用している市民の割合（％） 【健康課】	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
		91.9	91.9	92.7	95	☀ (向上)
評価	前年度に比べ、実績値（R1）が0.8ポイント増加した。本市では5km圏内に高度医療の病院が3か所、その他市内の診療所が59か所あり、地域の医療施設が整っていることが要因と考えられる。					対 前年度
		☀ (向上)	目 標 達 成 度	■ (高)		

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 高度医療体制の充実

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	高度医療を5km圏内で受けられる市民の割合(%) 【健康課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	基準値
		100	100	100	100	☀️ (向上)
評価	本市では、5km圏内に高度医療の病院(第3次救急医療施設:2病院、第2次救急医療施設:1病院)があり、市民が緊急時を含めていつでも高度医療を受けられる位置的好条件がある。病院においても医療の安定化が図られ、当地域の中核病院として役割を果たしている。					対 前年度
						☀️ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

基本事業02 救急医療体制の充実

指標	救急のときに瀬戸旭休日急病診療所で医療を受けられることを知っている市民の割合(%) 【健康課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	基準値
		78.7	78.7	77.3	80	☔️ (低下)
評価	前年度に比べ、実績値(R1)が1.4ポイント減少したが、後期目標値達成に向け高い数値を維持している。診療所開設から令和2年3月で2年8か月経過し、市民の間に診療所の認知度は着実に上がっている。					対 前年度
						☔️ (低下)
						目 標 達 成 度
						▬▬ (高)

基本事業02 救急医療体制の充実

指標	救急医療を5km圏内で受けられる市民の割合(%) 【健康課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	基準値
		100	100	100	100	☀️ (向上)
評価	第1次医療では瀬戸旭休日急病診療所、第2次医療では旭労災病院、第3次医療では陶生病院や愛知医科大学病院があり、5km圏内で救急医療を受けられる体制が確保されている。					対 前年度
						☀️ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

基本事業03 かかりつけ医制度の普及

指標	かかりつけ医を持っている市民の割合(%) 【健康課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	基準値
		71.8	71.8	74.7	80	☀️ (向上)
評価	前年度に比べ、実績値(R1)が2.9ポイント向上した。本市では5km圏内に高度医療の病院が3か所、その他市内の診療所が59か所あり、地域の医療施設が整っているためと考えられる。					対 前年度
						☀️ (向上)
						目 標 達 成 度
						▬▬ (高)

基本事業04 福祉医療費の助成

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	各種助成の年間助成件数（件） 【保険医療課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
		304,621	304,621	303,176	-	
評価	(状況) 昨年度より減少した (原因) 平成29年度に廃止した妊産婦医療費助成制度は平成30年3月末までに母子健康手帳を交付され、出産後1か月までが助成対象期間であったため、平成30年度に経過期間終了。このため妊産婦の件数は対前年比 96.97%だった。これ以外の助成件数は、指定難病で13.11%障害で6.69%増加している。母子父子・マル福とも増加したが、子どもは対前年比2.37%減少している。	(件) 				対前年度
		(比較不可)	(比較不可)	目標達成度	(---)	

基本事業04 福祉医療費の助成

指標	(参考：各種助成の年間助成金額) (千円) 【保険医療課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
		841,529	841,529	844,357	-	
評価	(状況) 前年度より増加した (原因) 妊産婦医療費助成制度は平成30年度に経過期間終了。マル福ひとり暮らし要件の医療費助成制度は平成30年度に経過措置満了。子ども医療の助成額は対前年比 1.14%減少し、助成件数と共に減少しているものの、障害・母子父子・マル福の助成額については、助成件数と共に増加し、障害は対前年比2.12%、母子父子は対前年比8.22%、マル福は対前年比3.00%増加している。制度廃止に伴う経過措置終了により助成件数は減少したが、助成額は増加している。	(千円) 				対前年度
		(比較不可)	(比較不可)	目標達成度	(---)	

基本事業04 福祉医療費の助成

指標	福祉医療費助成によって、安心して医療が受けられる人の割合 (%) 【保険医療課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
		19.0	19.0	18.9	-	
評価	(状況) 前年度より減少した (原因) 制度廃止に伴う経過措置終了の要因もあり平成30年度と比較して0.1ポイント減少になっている。全体で約64人減少。福祉医療費受給者数と申請者数の年平均：平成30年度15,833件・R元年度15,815件 18件減少、総人口(10/1現在)：H30年8,409人・R元年83,688人 279人増	(%) 				対前年度
		(比較不可)	(比較不可)	目標達成度	(---)	

基本事業05 国民健康保険の健全な運営

指標	国民健康保険被保険者の1人あたりの年間医療費 (千円) 【保険医療課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
		334	334	352	-	
評価	(状況) 平成30年度と比較して18,309円増加した。 (原因) 療養給付費は受診率は1.9%、1人当たり費用額は5.5%増加。消費税引上げに伴う診療報酬の引上げが影響していると考えられる。(1人当たり費用額：入院+9.5%、入院外+4.2%、歯科+7.1%、調剤+0.3%、食事療養+8.7%、訪問看護+7.0%)。療養費はあんま・マッサージの増加が続いており(1人当たり費用額+20.9%、受診率+24.3%)、全体で1人当たり費用額が+2.6%となった。	(千円) 				対前年度
		(低下)	目標達成度	(---)		

